防災マニュアル作成支援の事例紹介

- 仙台市のひな型を活用した管理組合の取り組み

- 作成の進め方と、話し合いの工夫



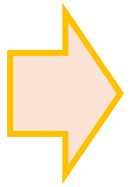
仙台市「防災マニュアル作成の手引」

宮城県マンション管理士会
結城 孝子

作りたいけれど、どう始めれば？

◆ ひな型を確認

まず、市のひな型で完成形のイメージを共有





仙台市 防災マニュアル作成の手引　検索

◆ 現状を確認

建物・設備・居住者の状況を整理する

◆ 話し合って決める

話し合いを重ね、実行できる内容にする

市の支援制度を利用して作成

防災マニュアル作成支援派遣制度を利用

管理組合とマンション管理士が**5回**の話し合いを重ねて作成

※話し合いの進め方は
マンションの状況によって異なります。



○○○○マンション
防災マニュアル

1．震災対応時のお願い ・・・ 1
2．対策本部体制 ・・・ 3
3．名簿・防災活動備品・備蓄物資リスト ・・・ 4
4．震災時活動フロー ・・・ 5
5．震災時の自主防災活動 ・・・ 6

ひな型の表紙・目次（作成例）

最初に、完成形のイメージを共有

◆ 仙台市のひな型全体を確認する

◆ 既にわかっている設備や体制を整理する

◆ これから調べること・話し合うことを確認する

◆ 全体を見たうえで、一つずつ具体化

建物・設備・備蓄場所を確認

設備と、使える場所を下調べ



貯水槽



発電機



AED

備蓄場所も確認し、マンションの実情に合わせて作成

組織づくりと手続きも確認

◆ 事例では、自主防災組織の設立に
必要な総会決議を確認

◆ 防災の体制を、管理組合の取り組みとして共有する

◆ 規約などに照らし、必要な手続きを確認

ひな型を、自分たちのマニュアルに

- ◆ 居住者へのお願い
- ◆ 対策本部と各班の役割
- ◆ 名簿・備品・備蓄物資
- ◆ 災害時の活動と記録用紙
- ◆ 設備・使える場所・居住者の状況を内容に反映する

備蓄場所と予算には限りがある

共用の備蓄場所に限り
予算にも上限

管理組合と各家庭の
備えを組み合わせる

名称	数量	保管場所
居住者名簿	1冊	管理員室
要支援者名簿	1冊	管理員室
建物・設備図面	1式	管理員室
自動車用ジャッキ	1基	本部長
大ハンマー	1本	管理員室

※リストの一部を抜粋・整理

各家庭の備えと、助け合い

◆ 各家庭の備え

各家庭での備蓄を基本として、準備をお願いする

◆ 管理組合の備え

管理組合が共用で用意するものを明確にする

困ったときには、居住者同士で助け合う

災害時の役割と、居住者の協力

本部長・副本部長
全体統括・各班への指示

情報班
安否確認
情報の収集・提供

救護班
救護・避難支援
安全確保

物資班
物資の管理・配給
炊き出し

ひな型に沿って体制を整理し、多くの居住者が協力

担当者が不在のときは、代理や班の体制を調整

マニュアルの対策本部体制をもとに、役割を抜粋・整理

災害時の行動を具体的にする

【発生直後～1日目】
安全確保・安否確認

【 2～3日目 】
情報収集・救護・物資の配給

【4日目以降】
避難生活を支える活動

時期	主な動き	各班の活動
地震発生直後～1日目	安全確認・安否確認 近隣への声がけ 一時避難場所へ集合 対策本部の立上げ	**情報班**：安否確認・安否情報の伝達 **救護班**：初期消火・救助・救護 **物資班**：資機材・備蓄物資の準備
2～3日目	対策本部の体制充実	**情報班**：情報収集・情報提供 **救護班**：防火・防犯・救助活動 **物資班**：配給・炊き出し・支援物資の調達
4日目以降	各班体制の把握 活動の縮小・廃止	**情報班**：情報収集・提供の継続 **救護班**：出入口管理・安全管理・防犯 **物資班**：炊き出し継続・ゴミ集積所の管理

安否確認ステッカーや記録用紙も用意

※リストの一部を抜粋・整理

名簿づくりで出てきた課題

◆ 居住者と、支援を必要とする方を把握

安否確認や、必要な支援・助け合いを考えるために

◆ 理事長からの相談

「情報提供への協力が得られない場合は？」

情報提供への協力を得るために

利用目的・管理方法を説明

日頃の信頼関係を大切に

名前や見た目にも工夫

安心カード
たすけあいカード
思いやりカード



名称・デザインのイメージ例

親しみやすさと、情報の取扱いの説明をあわせて

日頃の関係と、災害時の助け合い

◆ 情報提供の有無にかかわらず、災害時は支援

普段のあいさつ・声かけも、関係づくりの機会

◆ 関係づくりのアイデア

イベント・防災訓練・マンション探検会

備蓄食品の配布・試食会

子育て世代や高齢者ならではの視点を生かす

マニュアルは、完成後の活用が大切

共有する

配布やお知らせを通じて、居住者に内容を知らせる

訓練で使う

マニュアルを使い、決めた行動や役割を確認する

見直す

訓練で気づいた点を、マニュアルの更新に反映する

防災意識を高めるには

自分の生活に関わることとして、具体的に伝える

- ◆ 備品はどこ？　安否表示はどうする？
- ◆ 各家庭で、何を準備する？
- ◆ 訓練やお知らせで、必要な内容を繰り返し確認

マンション内の備えと、地域の連携

◆ マンション内の備え

建物・住戸の安全が確認できる場合に
マンション内で避難生活を続けられるよう準備

◆ 地域との連絡・協力

事例では、町内会の防災訓練にも参加
指定避難所との連絡や、運営への協力も整理

地域との連絡先や協力方法を、平時から確認

総会後に防災訓練を行う

- 事例では、総会の終了後に訓練を行う方針
- 総会など、もともと人が集まる機会を活用する
- 訓練の案内には、行う内容と所要時間を具体的に記載
- 既存の行事と組み合わせ、参加しやすい機会を設ける

マニュアルを見ながら訓練する

- 毎年、防災訓練を実施することを明記
- 安否表示の場所・記録用紙の保管場所を確認
- 担当者が不在のとき、誰がどのように対応するかも確認
- わかりにくい点や変更点を、更新に反映

居住者みんなで取り組むために

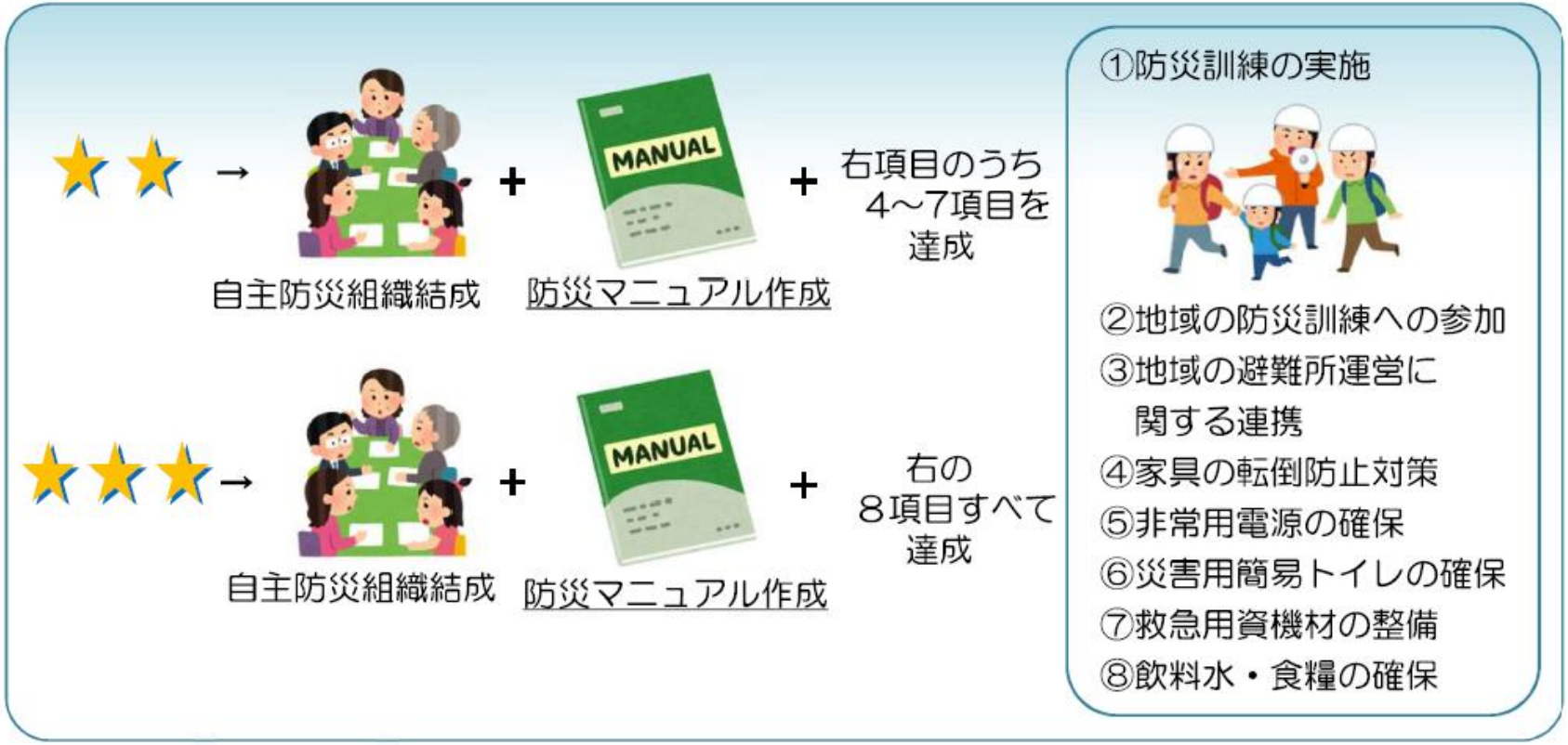
各マンションで検討できる方法

- 賃借人など、実際の居住者にも情報を届ける
- 情報伝達や記録など、関わりやすい役割を検討
- 設備・避難経路の確認と、防災を結びつける
- 防災を日常の活動に組み込み、継続しやすくする

防災力向上マンション認定制度

仙台市が、マンションの防災力を認定

防災性能・防災活動を評価
各最大3つ星、合わせて最大6つ星



今の備えを確認し、次の目標を考える

防災活動1つ星

自主防災組織の結成と
防災マニュアルの作成

既にできていることと
これからの課題を整理



認定取得も、目標の一つに

杜の都　防災力　検索

事例からお伝えしたい3つのこと

実情に合わせて作る
設備・スペース・予算・居住者の状況を確認

居住者と共有する
各家庭の備えと、居住者同士の助け合い

訓練で確かめ、見直す
完成後も共有し、訓練で使いながら更新する

まずは、理事会で話し合うことから

仙台市のひな型を確認

現在の備えと課題を整理

取り組めることから検討



ありがとうございました